

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

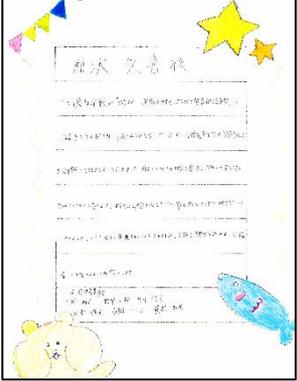
事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 山口県 】

学校名【 萩市立大島小中学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	全校児童生徒40名・教職員12名・保護者22名・地域の方5名
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（保健体育 武道 柔道 中学部全校生徒）</p> <p>② 行事名（アスリートによる健康教室）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名</p> <p>② その他（上記の活動を地元ケーブルテレビによる放映）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>・アスリートによる実演や健康教室を通して、運動やスポーツへの関心を高めることで、子どもたちに運動習慣の定着や改善を図る。また、自らの生き方について考えるとともに体力や健康意識の向上についての意欲を高める。</p>
5 取組内容	<p>(1) 柔道 100 キロ超級日本代表 原沢久喜選手による保健体育科授業（柔道） トップアスリートによる助言や演示により、柔道を含めた日本伝統文化への関心を深めることや柔道の技能を向上させることを目的として実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体落とし、支えつり込み足、大腰の演示をしていただき、その後のグループ活動では実際に各投げ技について指導をしていただいた。 ・振り返りの時間では、生徒の見たい技や原沢選手の得意技（背負い投げ、内股、巴投げ、大外刈り、出足払い）などを演示していただいた。 ・事後の活動において、原沢選手の動画を活用し、指導を行っている。  <p>(2) 原沢兄弟に学ぶ！ 心と体の健康教室（柔道家：原沢久喜氏 俳優：原沢侑高氏） 体力や健康意識の向上を図り、自己管理能力を身に付けることを目的として、トップアスリートの健康管理法に関する教室を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前学習として保健体育委員が全校児童生徒に原沢久喜氏・侑高氏への質問を収集したり、講師と ZOOM を利用して講演内容の打合せを行ったりした。 ・当日の心と体の健康教室では、「心や体を健康に保つためにはどうすればよいですか」等、児童生徒が1人ひとつずつ講師に質問した。 ・健康教室後、ドッジボール大会を実施し、講師の方々とともに体を動かした。 ・事後活動として、保健体育委員が感謝の気持ちを込め、礼状を講師に送付した。

	 
<p>6 主な成果</p>	<p>(1) 保健体育科授業（柔道）</p> <p>○運動への関心や実践的な意欲、日本の国技である柔道や武道特有の礼儀作法への興味関心を高めることができた。原沢選手に教わったことや助言を意識し実践することで技能を向上させることができた。</p> <p>○生徒の感想より（一部抜粋）</p> <p>「柔道にあまり興味をもっていませんでしたが、柔道選手の技を間近で見て迫力の違いに驚きました。私ももっと上手になりたいと思いました。」（中1女子）</p> <p>「礼に始まり、礼に終わるという戦った相手に敬意を表す考えを大切にしておられたので、僕も相手を尊重する姿勢を大切にしたいと思いました。」（中3男子）</p> <p>「原沢選手の助言通りに投げ技を実践すると、自分より大きな友達を簡単に投げることができたので、今後も助言を意識して取り組みたいと思います。」（中3男子）</p> <p>(2) 原沢兄弟に学ぶ！ 心と体の健康教室</p> <p>○今までテレビで応援していた人に直接会ってやりとりをしたことで、オリンピックの偉大さを感じるとともに、健康体力に対する意識が児童生徒や教員、保護者も高まった。</p> <p>○生徒の感想より（一部抜粋）</p> <p>「スポーツマンとして試合でベストパフォーマンスを発揮するためには、日頃の食事や睡眠、練習などが大切だと学んだので、実践していきたいです。」（中2男子）</p> <p>「健康的な生活をするためには、栄養のとれた食事をするのが大切だと改めて感じる事ができました。」（中1女子）</p>
<p>7 実践において工夫した点（事業の特色）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策のため、参観者数に制限をかけ、柔道授業や健康教室の様子を録画した映像を地元のケーブルテレビの協力のもと島内に放送した。 ・健康教室の質問を全校児童生徒1人1つずつ直接講師に質問する形式にしたことで1人ひとりが関わりをもつことができた。また、自分の質問に回答してもらったことで、児童生徒にとって印象深いものとなった。 ・健康教室の内容の決定や当日の司会進行など全ての企画・運営を保健体育委員会の児童生徒が行った。 ・来校を歓迎するポスターの掲示や会場案内、休憩時間にお茶を出すなどのおもてなしを子どもたちが中心となって行った。
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の学びを今後の教育活動内でどのように生かしていくかが課題である。授業等の教科活動のみならず、生徒指導や教育相談等でも生かしていく必要がある。
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・その道を極めた方からの実指導は子どもたちの活動意欲や感動を生む。他教科でも、その道を極めた方やプロの選手を講師とすることで、子どもたちのより深い学びにつながるように実践していきたい。